

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4496193号
(P4496193)

(45) 発行日 平成22年7月7日(2010.7.7)

(24) 登録日 平成22年4月16日(2010.4.16)

(51) Int.Cl. F I
G 1 O K 15/04 (2006.01) G 1 O K 15/04 3 O 2 F
G 1 O L 19/00 (2006.01) G 1 O L 19/00 3 1 4

請求項の数 3 (全 12 頁)

(21) 出願番号	特願2006-276680 (P2006-276680)	(73) 特許権者	000110217
(22) 出願日	平成18年10月10日(2006.10.10)		トッパン・フォームズ株式会社
(65) 公開番号	特開2008-96587 (P2008-96587A)		東京都港区東新橋一丁目7番3号
(43) 公開日	平成20年4月24日(2008.4.24)	(74) 代理人	100123788
審査請求日	平成21年8月5日(2009.8.5)		弁理士 宮崎 昭夫
		(74) 代理人	100106138
			弁理士 石橋 政幸
		(74) 代理人	100127454
			弁理士 緒方 雅昭
		(72) 発明者	平▲崎▼ 延幸
			東京都港区東新橋一丁目7番3号 トッパ ン・フォームズ株式会社内
		(72) 発明者	井手 義章
			東京都港区東新橋一丁目7番3号 トッパ ン・フォームズ株式会社内
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 音声メッセージ伝達媒体

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シート状に構成され、少なくとも音声情報の再生が可能な音声情報記録／再生手段と、前記音声情報記録／再生手段を表裏から挟み込んで互いに接着された第1及び第2の支持シートと、前記第1の支持シートの前記第2の支持シートとの接着面とは反対側の面の全面に接着された第1の表面シートとを具備し、前記第1及び第2の支持シート、並びに前記第1の表面シートからなる積層体が折り部を中心に折り畳まれる第1の領域と第2の領域とを有し、前記音声情報記録／再生手段は、前記第1の領域にて前記第1の支持シートと第2の支持シートとに挟み込まれ、前記第2の支持シートは、前記第1の支持シートとの接着面とは反対側の面のうち前記第2の領域の少なくとも一部に接着構造が表出している音声メッセージ伝達媒体において、

10

前記第2の支持シートの前記第1の支持シートとの接着面とは反対側の面に対して、前記第1の領域に接着されるとともに、端部が前記折り部を越えて前記第2の領域の一部まで延びて接着された第2の表面シートを有し、

前記接着構造は、前記第2の支持シートの前記第2の表面シートが接着されていない領域にて表出していることを特徴とする音声メッセージ伝達媒体。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の音声メッセージ伝達媒体において、

前記第2の支持シートは、前記第2の表面シートが接着されていない領域に前記接着構造によって剥離紙が剥離可能に貼着されていることを特徴とする音声メッセージ伝達媒体

20

。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の音声メッセージ伝達媒体において、

前記第 2 の支持シートの前記第 2 の表面シートが接着されていない領域に、前記接着構造によって印刷物が貼着されていることを特徴とする音声メッセージ伝達媒体。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、音声情報の記録や再生が可能な音声情報記録／再生手段が組み込まれてなる音声メッセージ伝達媒体に関する。

10

【背景技術】

【0002】

従来より、ダイレクトメールやグリーティングカード等の送付物においては、発送元において、発送される送付物が作成されるとともに送付物の発送先が指定され、その後、作成された送付物が指定された発送先に送付されている。このように作成、発送される送付物は、発送元から発送先に通知したい情報が掲載された印刷物が封筒に封入されて構成されるものや、発送元から発送先に通知したい情報がはがき等のシートに印刷されて構成されるもの等がある。

【0003】

送付物の発送先においては、送付されてきた送付物が受け取られた後、送付物に印刷された情報が閲覧されることにより、送付物の発送元にて通知したい情報が認識されることになる。

20

【0004】

ところが、このように、送付物の発送元にて発送先に通知したい情報が印刷された送付物が発送元から送付され、送付物の発送先において送付されてきた送付物に印刷された情報が閲覧されることにより、送付物の発送元にて通知したい情報が発送先に伝達されるものにおいては、送付物の発送元における所望のメッセージを、視覚的にしか発送先に伝達することができず、それにより、伝達可能な情報の種類が限定されてしまう。

【0005】

そこで、音声情報の記録や再生が可能なシート状の音声情報記録／再生手段が組み込まれてなる音声メッセージ伝達シートが考えられ、特許文献 1 に記載されている。この特許文献 1 に記載された音声メッセージ伝達シートは、音声情報の記録や再生が可能なシート状の音声情報記録／再生手段が 2 枚の支持シート及び表面シートに挟み込まれて構成され、音声情報記録／再生手段にて再生された音声情報が、表面シートに形成された微細な穴を介して外部に出力される。また、音声情報記録／再生手段にて再生された音声情報は、表面シートが振動することによっても外部に伝えられる。これにより、音量の増幅作用が生じ、音声情報記録／再生手段にて再生される音声情報の音量が小さなものであっても外部に明確に伝えることができるようになっている。

30

【特許文献 1】特開 2005-99704 号公報

【発明の開示】

40

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

上述した音声メッセージ伝達シートは、音声情報の記録や再生が可能なシート状の音声情報記録／再生手段が 2 枚の支持シート及び表面シートに挟み込まれて構成されていることから、音声情報の記録や再生が可能でありながらも一般のプリンタにて所望の情報を印刷することができるため、様々な用途に利用されている。例えば、結婚式の案内状やバースディカード、クリスマスカード等のグリーティングカードとして利用されることが多い。

。

【0007】

また、近年においては、パンフレットやカタログ等の印刷物に貼着して利用される場合

50

がある。会社案内や製品紹介等のパンフレットやカタログに貼着し、その会社や製品の概要を音声情報として記録しておくことにより、会社や製品の宣伝効果を向上させることができる。

【0008】

ここで、パンフレットやカタログ等の印刷物においては、一般的に、机の上に置いた状態で閲覧される場合が多い。そのため、上述した音声メッセージ伝達シートをパンフレットやカタログ等の印刷物に貼着した場合、音声情報記録／再生手段にて再生された音声情報による表面シートの振動が抑えられてしまい、音声情報が聴こえにくくなってしまうという問題点がある。

【0009】

本発明は、上述したような従来の技術が有する問題点に鑑みてなされたものであって、机の上に置いた状態で閲覧されるような印刷物等の被着体に貼着されて利用される場合においても、再生された音声情報が聴こえにくくなってしまうことがない音声メッセージ伝達媒体を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0010】

上記目的を達成するために本発明は、

シート状に構成され、少なくとも音声情報の再生が可能な音声情報記録／再生手段と、前記音声情報記録／再生手段を表裏から挟み込んで互いに接着された第1及び第2の支持シートと、前記第1の支持シートの前記第2の支持シートとの接着面とは反対側の面の全面に接着された第1の表面シートとを具備し、前記第1及び第2の支持シート、並びに前記第1の表面シートからなる積層体が折り部を中心に折り畳まれる第1の領域と第2の領域とを有し、前記音声情報記録／再生手段は、前記第1の領域にて前記第1の支持シートと第2の支持シートとに挟み込まれ、前記第2の支持シートは、前記第1の支持シートとの接着面とは反対側の面のうち前記第2の領域の少なくとも一部に接着構造が表出している音声メッセージ伝達媒体において、

前記第2の支持シートの前記第1の支持シートとの接着面とは反対側の面に対して、前記第1の領域に接着されるとともに、端部が前記折り部を越えて前記第2の領域の一部まで延びて接着された第2の表面シートを有し、

前記接着構造は、前記第2の支持シートの前記第2の表面シートが接着されていない領域にて表出していることを特徴とする。

【0011】

上記のように構成された本発明においては、折り部にて一度折り畳まれた後に、第1及び第2の領域に見開かれ、第2の支持シートの第2の領域に表出した接着構造によって印刷物等の被着体に貼着される。この際、折り部にて折り畳まれたことによる折り癖がついており、被着体に貼着されていない第1の領域が被着体から浮き上がった状態となる。この第1の領域には、少なくとも音声情報の再生が可能な音声情報記録／再生手段が第1の支持シートと第2の支持シートとに挟み込まれ、第1の支持シートに第1の表面シートが接着されているため、音声情報記録／再生手段にて再生された音声情報が、第1の表面シートが振動することによっても外部に伝えられる。これにより、音量の増幅作用が生じ、音声情報記録／再生手段にて再生される音声情報の音量が小さなものであっても音声情報を外部に明確に伝えることができるようになる。

【0012】

また、被着体に貼着されて折り部にて折り畳まれたような状態においては、折り部の第2の支持シート側が表出する。この際、第2の支持シートの第1の領域に接着された第2の表面シートの端部が、折り部を越えて第2の領域の一部まで延びて接着されていれば、第2の表面シートの折り部側の端部が表出せず、外観が損なわれることがなく、かつ、第2の支持シートに設けられた接着構造が折り部近傍にて表出せず、ごみ等が付着することがない。さらには、この第2の表面シートにも折り部にて折り畳まれたことによる折り癖

をつけることができ、被着体に貼着された場合に第1の領域が被着体から浮き上がりやすくなる。

【0013】

また、このような音声メッセージ伝達媒体は、第2の支持シートの第2の表面シートが接着されていない領域に、接着構造によって剥離紙が剥離可能に貼着されたり、印刷物が貼着されたりして提供されることも考えられる。

【発明の効果】

【0014】

以上説明したように本発明においては、少なくとも音声情報の再生が可能な音声情報記録／再生手段が、折り部を中心に折り畳まれる第1及び第2の領域のうち、接着構造によって被着体に貼着されない第1の領域にて第1の支持シートと第2の支持シートとに挟み込まれた構成としたため、折り部にて一度折り畳まれて折り癖がつくと、第2の支持シートの第2の領域に表出した接着構造によって被着体に貼着された場合、音声情報記録／再生手段が第1及び第2の支持シートに挟み込まれた第1の領域が被着体から浮き上がった状態となる。そのため、音声情報記録／再生手段にて再生された音声情報が、表面シートが振動することによっても外部に伝えられることになり、机の上に置いた状態で閲覧されるような印刷物等の被着体に貼着されて利用される場合においても、再生された音声情報が聴こえにくくなってしまいうことがない。

【0015】

また、第2の支持シートの第1の領域に接着されるとともに、端部が折り部を越えて第2の領域の一部まで延びて接着された第2の表面シートを有し、接着構造が、第2の支持シートの第2の表面シートが接着されていない領域にて表出しているものにおいては、第2の表面シートの折り部側の端部が表出せず外観が損なわれることがなく、かつ、第2の支持シートに設けられた接着構造が折り部近傍にて表出せず、ごみ等が付着することがない。また、この第2の表面シートにも折り部にて折り畳まれたことによる折り癖をつけることができ、被着体に貼着された場合に第1の領域を被着体から浮き上がらせやすることができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0016】

以下に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0017】

図1は、本発明の音声メッセージ伝達媒体の実施の一形態を示す図であり、(a)は表面から見た図、(b)は内部構造を示す図、(c)は(a)に示したA-A'断面図、(d)は裏面から見た図である。

【0018】

本形態は図1に示すように、第1の領域である第1紙片領域2と、第2の領域である第2紙片領域3とが折り部4を中心に折り畳まれるように構成されており、音声情報の記録や再生が可能なシート状の音声情報記録／再生部30が、紙基材等の柔軟性を有し、かつ薄型の基材からなる第1の支持シート20aと第2の支持シート20bとに挟み込まれている。支持シート20aの支持シート20bとは反対側の面の全面には、支持シート20aの表面に塗布された粘着剤25aによって第1の表面シート10aが接着されており、2枚の支持シート20a、20bと表面シート10aとから積層体が構成されている。また、支持シート20bの支持シート20aとは反対側の面のうち第1紙片領域2には、支持シート20bの表面に塗布された接着構造である粘着剤25bによって第2の表面シート10bが接着されている。2枚の支持シート20a、20bは、音声情報記録／再生部30を挟み込んだ状態にて、支持シート20a、20bの表面に塗布された粘着剤（不図示）によって互いに接着されている。そのため、音声情報記録／再生部30は、この粘着剤によって2枚の支持シート20a、20b間に固定されている。また、音声情報記録／再生部30は、第1紙片領域2内にて2枚の支持シート20a、20bに挟み込まれている。また、折り部4は、表面シート10a、10b及び支持シート20aに表面シート1

0 b 側から施された筋押し加工によって形成されている。

【0019】

音声情報記録／再生部30は、 piezo素子41、振動板42及びフィルムシート（不図示）からシート状に構成されて音声情報を出力するための音声情報出力部40と、外部から入力された音声情報が記録されるメモリ領域を具備する薄型のICチップ34やコンデンサ、抵抗等の回路素子が搭載されるとともに、外部からICチップ34に音声情報を記録するための接続端子35や導電パターンが形成された音声基板32と、ICチップ34のメモリ領域に記録された音声情報を音声情報出力部40を介して出力する際に押下されるスイッチ33と、音声基板32に接続され、音声基板32に電源を供給するための柔軟性を有してなるペーパー電池31とから構成されており、これにより、音声情報記録／再生部30は、音声情報の記録や再生が可能に構成されている。音声基板32は、柔軟性を有し、かつ薄型の繊維強化プラスチック（FRP）やポリエチレンテレフタレート（PET）、ポリイミドあるいはリードフレーム等からなるベース基板に、異方性導電性接着剤（ACP）や異方性導電性フィルム（ACF）あるいはワイヤボンディング等によってICチップ34が接合されている。また、ICチップ34は、接続端子35を介して入力された音声情報をメモリ領域に記録し、また、メモリ領域に記録された音声情報を音声情報出力部40を介して出力する制御を行うものである。

10

【0020】

また、この音声情報記録／再生部30を挟み込んでいる2枚の支持シート20a、20bのうち、一方の支持シート20aは、折り部4を介して第1紙片領域2と第2紙片領域3とに渡って1枚のシートから構成されており、他方の支持シート20bは、折り部4を介して第1紙片領域2と第2紙片領域3とに分割された形状となっている。

20

【0021】

表面シート10aの第1紙片領域2には、スイッチ33と対向する領域に、スイッチ33を押下するための再生ボタン2bが印刷され、また、音声情報出力部40と対向する領域に、音声情報出力部40から出力された音声を外部に出力するための微細な穴が羅列されてなる音声出力領域2cが形成されている。このように微細な穴が羅列されてなる音声出力領域2cが形成されているため、音声情報出力部40が表裏を表面シート10a、10bで覆われた状態であっても、音声情報出力部40から出力される音量の低下を補うことができる。なお、音声出力領域2cにおいては、例えば、レーザ加工によって、0.1mm径の穴が縦横2.0mm間隔で形成されている。そのため、抜き加工や針等によって穴を形成する場合と比べてバリが発生せず、その後そのバリによって穴が塞がれてしまうことはない。また、再生ボタン2bにおいては、印刷によって表面シート10a上に設けておかず、表面シート10aに情報が印刷された後に、スイッチ33に対向する領域にシールを貼付することによって設けることも考えられる。また、表面シート10aの第1紙片領域2には、この音声メッセージ伝達媒体1を用いて視覚的に通知すべき情報を印刷あるいは記入するための情報表示領域2aが設けられている。

30

【0022】

表面シート10bは、支持シート20bの支持シート20aとは反対側に対して、第1紙片領域2において粘着剤25bによって支持シート20bに接着されるとともに、その端部が折り部4を越えて第2紙片領域3の一部まで延びて粘着剤25bによって支持シート20bに接着されている。なお、第2紙片領域3にて支持シート20bと接着される一部においては、剥離紙50bを介して支持シート20bと接着されている。それにより、第2紙片領域3においては、その裏面のうち一部を除く領域には支持シート20bに表面シート10bが接着されておらず、表面シート10bが接着されていない領域にて、支持シート20bの表面に塗布された粘着剤25bが表出している。

40

【0023】

図2は、図1に示した音声メッセージ伝達媒体1の積層状態を示す図である。

【0024】

図2に示すように、支持シート20aにおいては、音声情報記録／再生部30と積層さ

50

れた場合に、スイッチ 33、ICチップ 34及び音声情報出力部 40と対向する領域に穴 22, 23, 24aがそれぞれ形成されている。

【0025】

また、支持シート 20bにおいては、音声情報記録／再生部 30と積層された場合に、ペーパー電池 31及び音声情報出力部 40と対向する領域に穴 21, 24bがそれぞれ形成されている。

【0026】

このように、支持シート 20aの、スイッチ 33、ICチップ 34及び音声情報出力部 40と対向する領域に穴 22, 23, 24aがそれぞれ形成され、また、支持シート 20bの、ペーパー電池 31及び音声情報出力部 40と対向する領域に穴 21, 24bがそれぞれ形成されることにより、ペーパー電池 31、スイッチ 33、ICチップ 34及び音声情報出力部 40が設けられている領域と他の領域とで厚さの差が小さくなり、それにより、表面シート 10a, 10bの平坦性が向上し、表面シート 10a, 10b上に情報を容易に印刷することができるようになる。さらには、音声情報記録／再生部 30の最も厚い部分の厚さに対して、支持シート 20a, 20bの厚さを合計した厚さを同等、若しくは厚くすることにより、表面シート 10a, 10bをほぼ平坦な状態とすることができる。この場合、音声情報記録／再生部 30の薄い部分、例えば音声基板 32の部分を支持シート 20a, 20bにより挟み込むことによって音声基板 32が固定される。

【0027】

以下に、上記のように構成された音声メッセージ伝達媒体 1の製造方法について説明する。

【0028】

図 3は、図 1及び図 2に示した音声メッセージ伝達媒体 1の製造方法を説明するための図である。

【0029】

まず、ベース基材の両面に粘着剤が塗布され、剥離紙が剥離可能に貼着されてなるタック紙を用い、支持シート 20a, 20bを作製する。支持シート 20aにおいては、穴 22, 23, 24aを形成し、また、支持シート 20bにおいては、穴 21, 24bを形成するとともに、第 1紙片領域 2と第 2紙片領域 3とに分割する。

【0030】

このように作製された支持シート 20a, 20bを、音声情報記録／再生部 30を挟み込んだ状態で、表面に塗布された粘着剤によって互いに接着する（図 3（a））。

【0031】

次に、支持シート 20bに粘着剤 25bによって剥離可能に貼着されている剥離紙 50bに対して、第 2紙片領域 3の折り部 4となる部分に沿う領域にスリット 51を形成する（図 3（b））。

【0032】

次に、支持シート 20aに粘着剤 25aによって剥離可能に貼着されている剥離紙 50bを支持シート 20aから剥離するとともに、支持シート 20bに粘着剤 25bによって剥離可能に貼着されている剥離紙 50bのうち、スリット 51を介して第 1紙片領域 2側の部分を支持シート 20bから剥離する（図 3（c））。

【0033】

次に、剥離紙 25aが剥離された支持シート 20aの全面に、表面シート 10aを粘着剤 25aによって接着するとともに、支持シート 20b側についてもその全面に表面シート 10bを接着する。なお、支持シート 20b側においては、第 2紙片領域 3の一部を除く領域に粘着剤 25bによって剥離紙 50bが支持シート 20bに貼着されたままとなっているため、この領域においては表面シート 10bは支持シート 20bに接着されずに剥離紙 50bに重ね合わされ、他の領域において表面シート 10bが支持シート 20bに接着されることになる（図 3（d））。

【0034】

10

20

30

40

50

次に、第2紙片領域3において支持シート20bに粘着剤25bによって剥離可能に貼着されている剥離紙50b及びそれに重ね合わされた表面シート10bに対して、第2紙片領域3の折り部4となる部分に沿う領域にスリット52を形成する(図3(e))。

【0035】

次に、第2紙片領域3において支持シート20bに粘着剤25bによって剥離可能に貼着されている剥離紙50bのうち、スリット52を介して折り部4とは反対側の領域を、表面シート10bのうちその領域に重ね合わされた領域とともに支持シート20bから剥離する(図3(f))。

【0036】

その後、第1紙片領域2と第2紙片領域3との間に、表面シート10a、10b及び支持シート20aに対して表面シート10b側から筋押し加工を施して折り部4を形成する(図3(g))。

【0037】

以下に、上述した音声メッセージ伝達媒体1の使用方法及びその際の作用について説明する。

【0038】

図4は、図1及び図2に示した音声メッセージ伝達媒体1の使用方法及びその際の作用を説明するための図である。また、図5は、図1及び図2に示した音声メッセージ伝達媒体1が被着体となるパンフレットに貼着された状態を示す図である。

【0039】

図1及び図2に示した音声メッセージ伝達媒体1をパンフレットに貼着して使用する場合は、パンフレットに貼着する前にまず、第2紙片領域3の支持シート20bに剥離紙50bが貼着された状態で表面シート10aが内側となるように折り部4にて折り畳む(図4(a))。図1及び図2に示した音声メッセージ伝達媒体1は、このように第2紙片領域3の支持シート20bに剥離紙50bが貼着された状態で提供されてもよい。

【0040】

次に、支持シート20bから剥離紙50bを剥離し、第2紙片領域3において表出した粘着剤25bによって支持シート20bをパンフレット100に貼着する(図4(b))。なお、剥離紙50bを支持シート20bから剥離する際、剥離紙50bのうちスリット52を介して折り部4側となる領域は、粘着剤25bによって支持シート20bに貼着されたまま残存する。また、図1及び図2に示した音声メッセージ伝達シート1は、このようにパンフレット100等の印刷物に粘着剤25bによって貼着された状態で提供されてもよい。

【0041】

すると、支持シート20aが第1紙片領域2と第2紙片領域3とに渡って1枚のシートから構成され、筋押し加工によって折り部4が形成されていることから、折り部4にて折り畳まれたことによる折り癖がついているため、折り部4にて折れ曲がり、パンフレット100に貼着されていない第1紙片領域2がパンフレット100から浮き上がった状態となる(図4(c))。例えば、パンフレット100が見開き可能な2面からなるものである場合、パンフレット100を見開くと、図5に示すように、折り部4を介して第1紙片領域2のみがパンフレット100から浮き上がり、ポップアップのような作用が生じる。

【0042】

ここで、第1紙片領域2には、音声情報の記録や再生が可能な音声情報記録／再生部30が2枚の支持シート20a、20bに挟み込まれ、支持シート20aに表面シート10aが接着されているが、第1紙片領域2は、パンフレット100から浮き上がった状態となっており、固定されていないため、この状態で再生ボタン2bを押下すれば、音声情報記録／再生部30にて再生された音声情報が、表面シート10aが振動することによって外部に伝えられる。これにより、音量の増幅作用が生じ、音声情報記録／再生部30にて再生される音声情報の音量が小さなものであっても音声情報を外部に明確に伝えることができるようになる。また、再生ボタン2bは、その領域を表裏から摘むことによって押

10

20

30

40

50

下されることになるが、第1紙片領域2がパンフレット100から浮き上がった状態となっているため、再生ボタン2bの領域が摘みやすくなる。また、第1紙片領域2にて支持シート20bに接着された表面シート10bが、その端部が折り部4を越えて第2紙片領域3の一部まで延びて接着されているため、折り部4にて折り畳まれたことによる折り癖がこの表面シート10bにもつき、第1紙片領域2がパンフレット100から浮き上がりやすくなる。

【0043】

また、パンフレット100に貼着されて折り部4にて折り畳まれたような状態においては、折り部4の背にあたる部分、すなわち、折り部4の支持シート20b側が表出する。この際、第1紙片領域2にて支持シート20bに接着された表面シート10bが、その端部が折り部4を越えて第2紙片領域3の一部まで延びて接着されているため、表面シート10bの折り部4側の端部が折り部4の背にあたる部分にて表出せず外観が損なわれることがなく、かつ、支持シート20bに塗布された粘着剤25bが折り部4近傍にて表出せず、ごみ等が付着することがない(図4(d))。

10

【0044】

なお、本形態においては、音声情報記録／再生部30を挟み込む2枚の支持シート20a、20bのうち、一方の支持シート20aが第1紙片領域2と第2紙片領域3とに渡って1枚のシートから構成され、他方の支持シート20bが折り部4にて第1紙片領域2と第2紙片領域3とに分割されているが、上述したように折り部4にて折り畳まれたことによる折り癖をつけるには、2枚の支持シート20a、20bのうち少なくとも一方が第1紙片領域2と第2紙片領域3とに渡って1枚のシートから構成され、筋押し加工等の折り加工によって折り部4が形成されていればよく、2枚の支持シート20a、20bがいずれも第1紙片領域2と第2紙片領域3とに渡って1枚のシートから構成されていてもよい。

20

【0045】

また、本形態においては、ベース基材の両面に粘着剤が塗布され、剥離紙が剥離可能に貼着されてなるタック紙を用いて支持シート20a、20bを作製しているが、粘着剤が塗布されていないベース基材の両面に両面テープ等を貼付することによって支持シート20a、20bを作製してもよい。

【0046】

また、本形態においては、被着体となるパンフレット100に貼着される状態において、第2紙片領域3に剥離紙50bの一部が残存しているが、剥離紙50bの一部が残存しない構成とすることも考えられる。その場合、第2紙片領域3において支持シート20bに粘着剤25bによって剥離可能に貼着されている剥離紙50bのうち、スリット52を介して折り部4とは反対側の領域を、表面シート10bのうちその領域に重ね合わされた領域とともに支持シート20bから剥離した後に、支持シート20bに貼着されたまま残存した部分を支持シート20bから剥離して取り除いたり、剥離紙50bに形成するスリット51と、その後に剥離紙50b及び表面シート10bに形成するスリット52とを同じ位置に形成し、第2紙片領域3において剥離紙50b及び表面シート10bを剥離する際に剥離紙50bの全てが支持シート20bから剥離する構成としたりすることが考えられる。

30

40

【0047】

また、本形態にて示した音声情報記録／再生部30は、接続端子35を介して音声情報がICチップ34に記録され、スイッチ33が押下された場合に、ICチップ34に記録された音声情報が再生されて音声情報出力部40を介して出力されるものであるが、音声情報記録／再生部30は、音声情報がICチップ34に予め記録され、スイッチ33が押下された場合に、ICチップ34に記録された音声情報が再生されて音声情報出力部40を介して出力されるだけのものであってもよい。

【図面の簡単な説明】

【0048】

50

【図 1】本発明の音声メッセージ伝達媒体の実施の一形態を示す図であり、（a）は表面から見た図、（b）は内部構造を示す図、（c）は（a）に示した A-A' 断面図、（d）は裏面から見た図である。

【図 2】図 1 に示した音声メッセージ伝達媒体の積層状態を示す図である。

【図 3】図 1 及び図 2 に示した音声メッセージ伝達媒体の製造方法を説明するための図である。

【図 4】図 1 及び図 2 に示した音声メッセージ伝達媒体の使用方法及びその際の作用を説明するための図である。

【図 5】図 1 及び図 2 に示した音声メッセージ伝達媒体が被着体となるパンフレットに貼着された状態を示す図である。

10

【符号の説明】

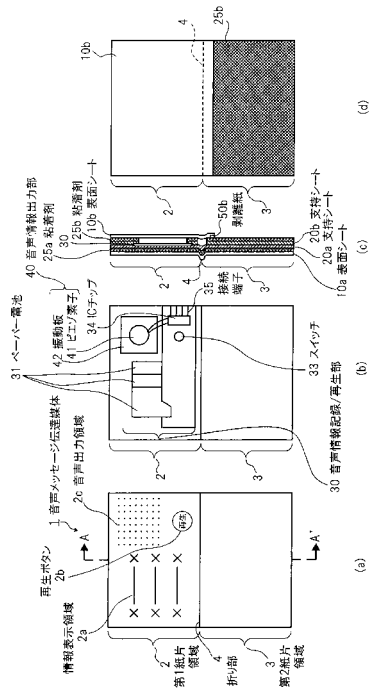
【0049】

- 1 音声メッセージ伝達媒体
- 2 第 1 紙片領域
- 2 a 情報表示領域
- 2 b 再生ボタン
- 2 c 音声出力領域
- 3 第 2 紙片領域
- 4 折り部
- 10 a, 10 b 表面シート
- 20 a, 20 b 支持シート
- 21, 22, 23, 24 a, 24 b 穴
- 25 a, 25 b 粘着剤
- 30 音声情報記録／再生部
- 31 ペーパー電池
- 32 音声基板
- 33 スイッチ
- 34 IC チップ
- 35 接続端子
- 40 音声情報出力部
- 41 ピエゾ素子
- 42 振動板
- 50 a, 50 b 剥離紙
- 100 パンフレット

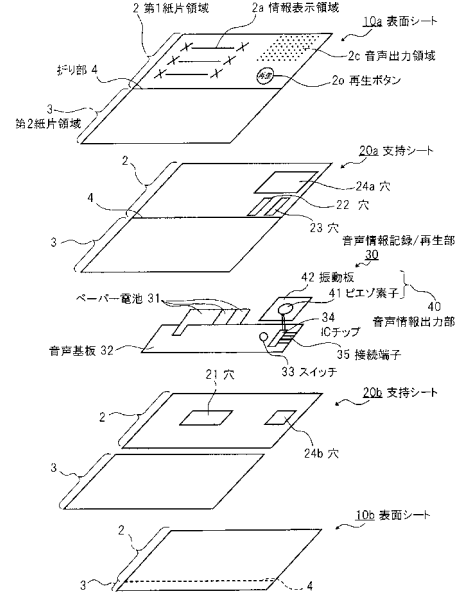
20

30

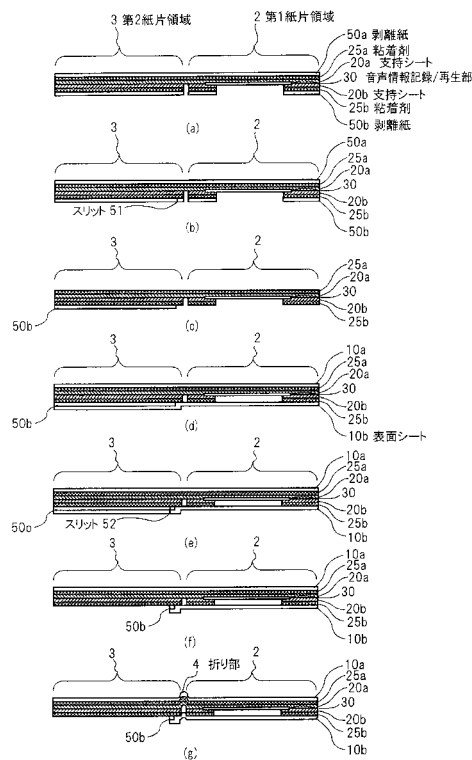
【図 1】



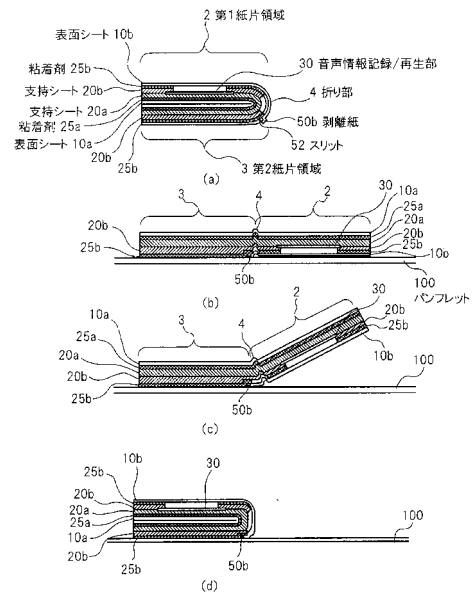
【図 2】



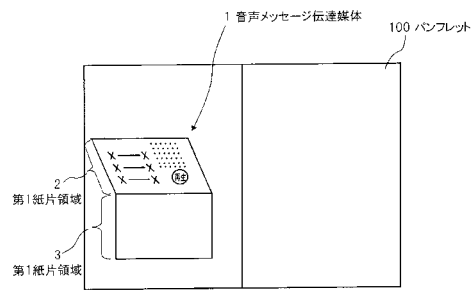
【図 3】



【図 4】



【図 5】



フロントページの続き

審査官 冨澤 直樹

- (56)参考文献 実開平07-037669 (JP, U)
特開2006-001039 (JP, A)
特開2006-001038 (JP, A)
特開2005-338509 (JP, A)
特開2007-076166 (JP, A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
G10K 15/04
G10L 19/00